

新型コロナウイルス感染症 ～この時期の子どもの体調不良～

急な発熱、咳が続く、“何となく元気が無い”、今だと、“新型コロナウイルス感染症”が心配になってしまいますよね？
ご存知の内容でも一度は最後まで目を通していただけると嬉しいです。 竜美ヶ丘小児科 院長

1.岡崎市の検査体制は、

コロナの検査を受けたい！



保健所：相談センターに電話

検査適応あり

検査適応なし

自宅待機 or
かかりつけ医

かかりつけ医を受診

疑われる

指定病院を受診

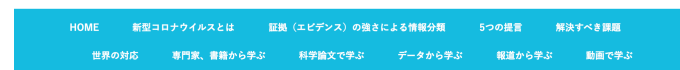
検査

ご存知だと思いますが、コロナの心配や疑いがある場合は、まずは、保健所の相談センターに電話。1日で検査できる数が限られているため、条件に満たない場合は、自宅待機又はかかりつけ医の受診をすすめられます。その後、かかりつけ医を受診して（又は受診していて）コロナを疑うと、医師は発生届を保健所に提出して、指定された病院に行つて検査を受けることになります。大人の方ならこれで良いと思います。ただ、

2.子どもの体調が悪いときは、

お爺ちゃんやお婆ちゃんに移さないようにするための対策は最も重要ですが、子どもは、インフルエンザ等の感染症と重症になる確率はあまり変わらないのと、コロナ以上に気をつけなければならない感染症や病気が多いので、コロナかどうかよりも、「子どもの急病ガイドブック」などを参考に、お子さんの状態をみて“いつもと様子が違い”“なんとなく元気がない”など受診が必要と判断したら、かかりつけ医、時間外なら夜間急病診療所、市民病院を受診してください。もう一つ、コロナよりも怖い感染症の多くは予防接種で防ぐことができます。こんな時でも、いつも通り一日でも早く接種してください。そして、

山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信



新型コロナウイルスへの対策は長いマラソンです。都市部で市中感染が広がり、しばらくは全力疾走に近い努力が必要です。また、その後の持久走への準備も大切です。感染が拡大していない地域も、先手の対策が重要です。私たちが一致団結して正しい行動を粘り強く続ければ、ウイルスの勢いが弱まり、共存が可能となります。自分を、周囲の大切な人を、そして社会を守りましょう！

山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信



“コロナ専門家”で検索



のんちゃんとコロナ-YouTube

3.TVやネット等の情報に溺れそうになったときは、

右のサイトを覗いてみてください。iPS細胞の京大の山中教授、感染症の専門家だけではないコロナに関係する信頼できる専門家が集まってできたサイトです。最後は、小児科医で国立感染症研究所長だった小児科医や感染症専門医なら誰でも知っている岡部先生と幼なじみの指揮者の井上道義さんの会話。です。

コロナとテレワーク

Web会議やテレワークなんてお茶の子歳々でしょうか。私に関わる学会や会議は重要なものを除いて全て中止になり、4月になってWeb会議として再開されるものが出てきました。直に会って感じる空気感がない会議なんてありえないと思っていましたが、やってみると、Web会議は以外に発言しやすく、ちゃんと聞いてくれているのかもよく分かる（偉そう？）ようになってきました。これも慣れでしょうか。不謹慎ですが、コロナが落ち着いて、東京に出張する会議も再開すれば、“帰りの新幹線でビールとお弁当”の夢を見たいですが、もう、会議はWebからは回復？しないか、と要らぬ心配しています。

お知らせ

- コロナ対応のため、診療予約枠を減らしています。予約がいっぱいでも、診療が順調だと、クリニックの中は比較的空いています。予約枠を随時開けますが、当日の受診希望の方は、予約又は直接受付にお電話ください。